



親綱・緊張器

リース品

支柱用親綱・緊張器

販売品

[(一社)仮設工業会認定品]

フックと緊張器の直付けは当社考案です。
戻り、すべりが小さい親綱と緊張器です。



親綱類



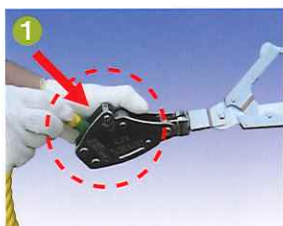
親綱緊張器(SMS16)

特長

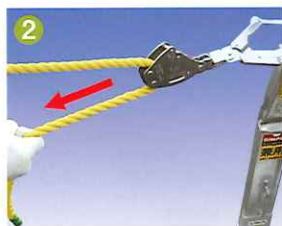
1. 親綱(直径16mm三つ打撚り(Z)合成繊維ロープ)を緊張器本体に1回通し強く引くだけで、容易に十分な張力を得られます。
2. 張設時や万一の墜落阻止時に親綱のスベリや損傷が少ない構造で、大きな張力をかけても親綱を確実に保持します。
3. 緊張器本体とフックの連結部はスイベル(回転継手)付きで、操作がしやすく親綱のねじれも解消されます。
4. フック本体(特殊鋼)と緊張器のロープ受け(アルミ)を除く全てのパーツがステンレススチール製で、錆びにくく丈夫です。
5. (一社)仮設工業会の認定基準を十分に上回る強度・性能があります。

[使用手順]

■緊張の場合



緊張器本体に刻印された矢印(↓)の方向に親綱ロープの端末を通します。



手前(フックと反対側)に強く引っ張って親綱をピンと張ります。(張力は0.2~0.3kN程度が適切です。)



■開放の場合

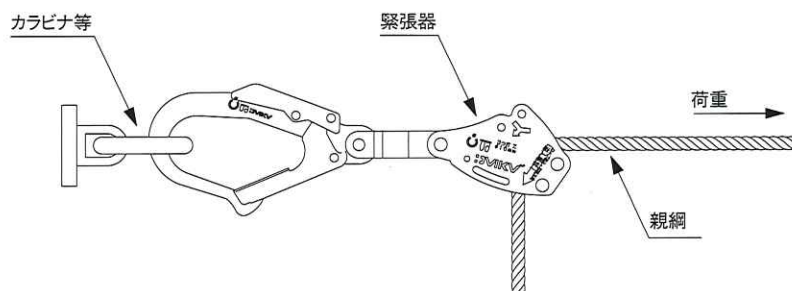


指先で爪のロープ側を強く押さえます。



指で開放できないときは、シノ等を差しテコを効かせて開放します。

緊張器の性能試験



◎認定合格証



◎親綱緊張器(SMS16)には大嘉産業の親綱・親綱支柱・親綱取付ベルトをご使用下さい。

使用上の注意事項

- お使いになる前に必ず製品の取扱説明書をよくお読みいただき、記載通りに正しくご使用願います。
- 親綱には必ず十分な張力(0.2~0.3kN程度)を加え、全長たるみがないように張設して下さい。
- 親綱緊張器(SMS16)は、直径16mm三つ打撚り(Z)の合成繊維ロープ専用です。
- 親綱端末を緊張器に通す際は、必ず緊張器本体に刻印された矢印の通りに挿通して下さい。逆方向に通すと、親綱ロープが保持されませんので、絶対に間違わないようにして下さい。
- '角掛け' '回し掛け' (緊張器のフック・緊張器本体・親綱が取付構造物等に面で接触し「ねじれて引かれる」ような掛け方)は回避して下さい。

親綱(片フック)

特長

1. 耐候性が良く、繰り返し使っても硬くなりません。
2. 平面にも角にも強く、耐摩耗性に優れています。
3. 強度は従来のビニロンロープに比べて約3割アップしています。

ご使用上の注意

次のような親綱は継続使用できません。

- 墜落による衝撃を受けたもの。
- 顕著な切り傷・焼け焦げ・溶断・摩耗があるもの。
- 塗料や油などが付着し硬化したもの。
- キンクや型崩れを起こしているもの。



寸法(m)

サイズ	色識別
6	ブルー
8	イエロー
10	グリーン
12	ホワイト
15	レッド

※20m・25m・30mも御用意出来ます。

規格

項目	親綱(DTT6~15)
材質	テトロン
ロープ径	16mm
強度	37.7kN以上
色	イエロー・ホワイト

◎認定合格証



関連商品

親綱支柱 (ディンプルポスト 平行型)

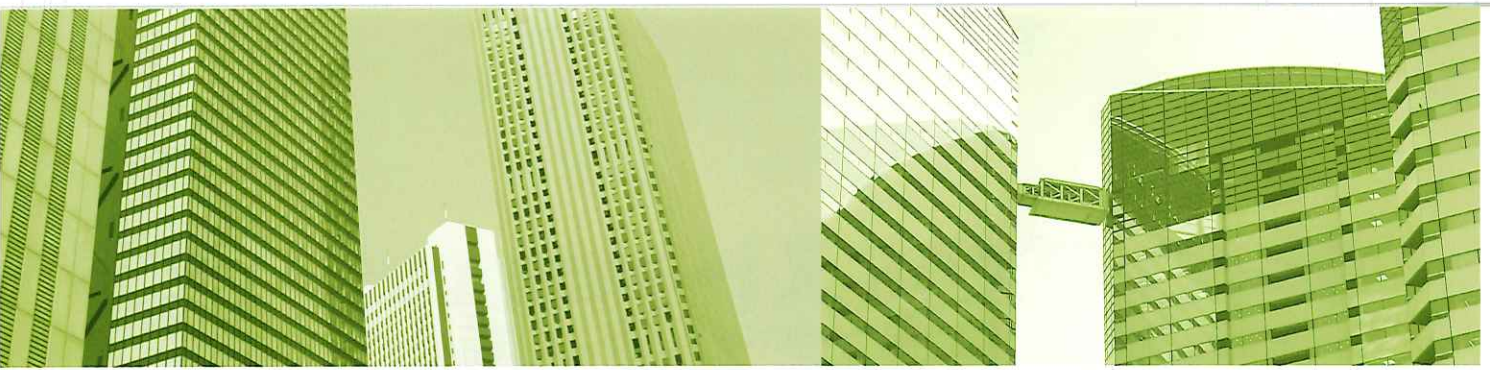
落下阻止性能100kg対応
2019年使用基準適合



親綱取付ベルト



- 床面コンクリート打設後の柱にも容易に親綱が設置できます。
- 各コーナースリーブはマグネット付ですので、ロープの取り付け及び取り外し時にも脱落しません。



ディンプルポスト

リース品 親綱支柱

墜落時の衝撃を吸収する
ディンプル構造です。



警告

- ◆使用時の注意事項
1. 設置取付前の確認。以下に事項を点検し異常のないことを確認して下さい。もし異常があった場合は使用しないで下さい。
 - ① 各材料の歪形、腐蝕等の有無
 - ② 取付金具等取付部の作動の異常の有無
 - ③ 異音部の発生の有無
 2. 腐蝕がなくなるまで取付フランジに支柱取付部を差込み、固定ボルトをしっかりと締付して下さい。
(締付せトルク: 8.0kN・cm)
 3. 支柱のスパンは 10m 以下にして下さい。
 4. 支柱のスパンが 10m で、支柱用鋼管に規定品の合成繊維ロープを用いた場合、支柱を改良した作業用と、衝突の恐れがある床面又は、機器設置等との衝突距離を 0.75m 以上確保して下さい。
 5. 本製品は、必ず、1 スパン一で使用して下さい。

親綱類

ディンプルポスト 平行型

落下阻止性能100kg対応
2019年使用基準適合

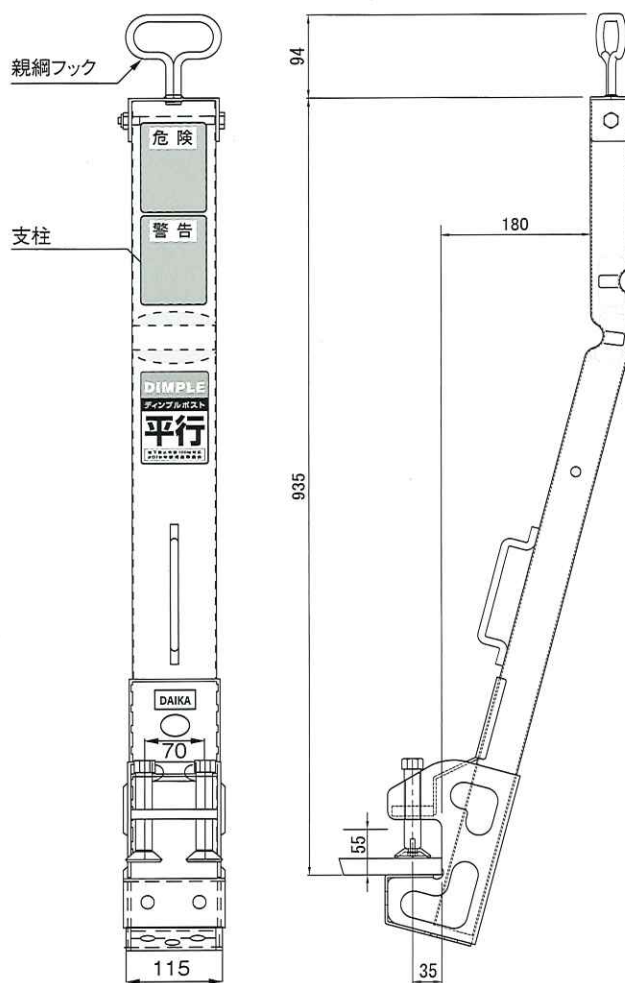
(HO-980K)

新開発「ディンプルポイント」が親綱とともに人体落下の衝撃を吸収。

親綱類



仕様



「ディンプルポイント」とは…

親綱支柱が大きく曲がっている箇所があります。この場所が「ディンプルポイント」といい、親綱から伝わる衝撃荷重を吸収し、掴み金物部への負担を和らげます。さらにH型鋼から親綱支柱が外れるのを防ぎ、下で作業中の方への二次災害を防止します。



使用上の注意事項

親網支柱

1. 設置取付前の確認。以下の事項を点検し、異常のないことを確認して下さい。もし異常があった場合は使用しないで下さい。

- 各部材の変形、摩耗等の有無
- 取付金具など取付部の作動の異常の有無
- 緊張器の機能の異常の有無

2. 隙間がなくなるまで鉄骨フランジに支柱取付部を差し込み、固定ボルトをしっかり締め付けて下さい。

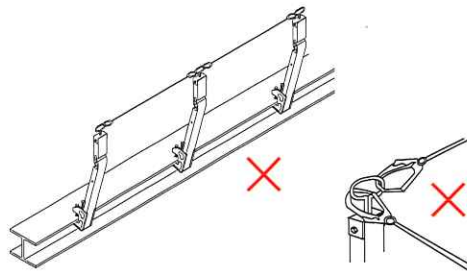
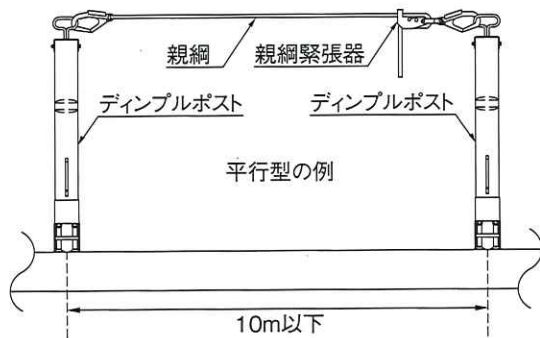
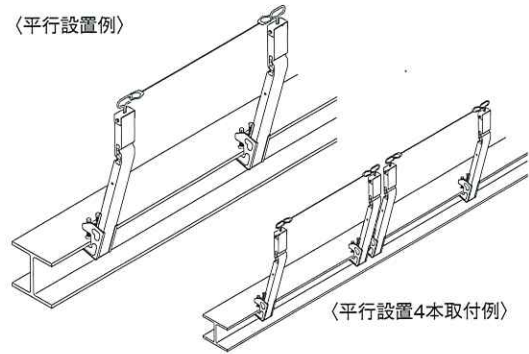
[締付けトルク: 6.00kN (612kgf·cm)]

3. 支柱のスパンは10m以下にして下さい。

4. 平行型

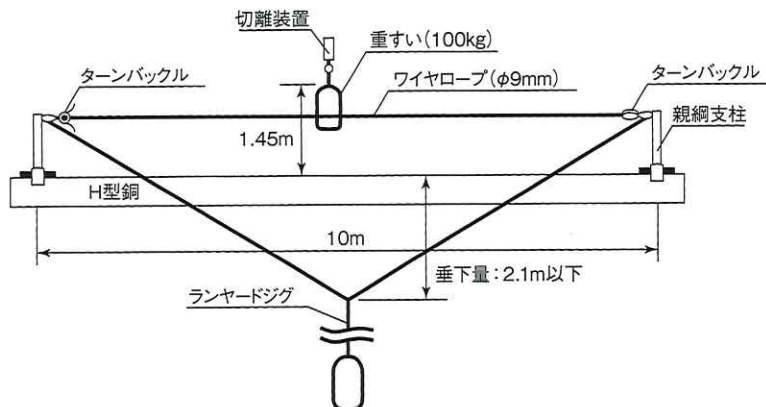
平行方向の位置で使用できます。但し1スパン1人で使用して下さい。1本の支柱に対して2人以上は使用できません。

〈平行設置例〉



設置禁止例

落下試験



親綱取付ベルト

リース品

販売品

親綱を取り付ける場所が無くて困った時に最適です。

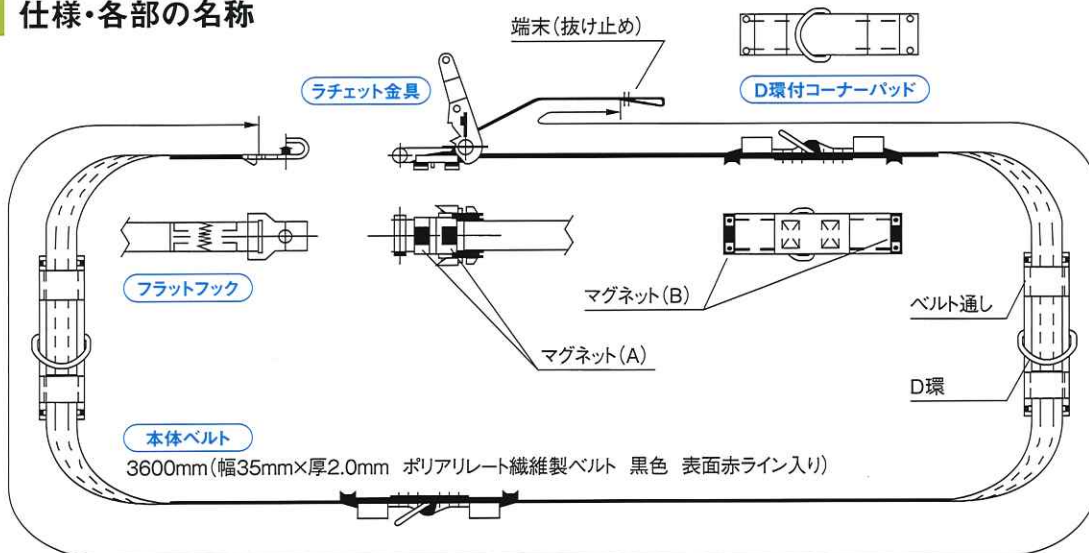


特長

1. 親綱取付用ピース不要。H鋼・ボックス柱・丸柱を問わず簡単に親綱を敷設できます。
2. 幅35mmの専用本体ベルトは、芯材に超高強力繊維を織り込み4トン以上の破断強度(新品時)を確保。熱にもエッジ切れにも高い耐久性を有しています。
3. D環付コーナーパッドとラチェット金具(緊張器)の裏側には、強力なマグネットが付いているので、ベルトを柱にセッティングして仮締めする作業が簡単に行えます。
コーナーパッドは必ず柱の角に当てて下さい。
4. ベルト表面の赤いラインで表裏が見分けやすいので、ねじれたままで取付・緊張してしまうミスを防げます。
5. 周囲の長さが最大で3.5mまでの柱に使える長尺のベルトです。製品重量は1.28kgと軽く、コンパクトで、取り扱いも容易です。

◎親綱取付ベルトには大嘉産業の親綱・緊張器を使用下さい。

仕様・各部の名称

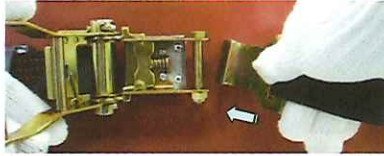


※周長1.2~3.5mまでの対象物に使用可

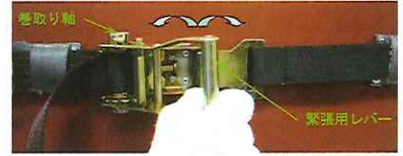
親網取付ベルト

取り付け手順

- 1 柱状構造物の各コーナーに“D環付コーナーパッド”を“ラチェット金具”に接続する。



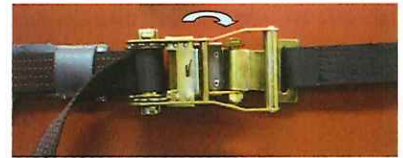
- 3 “ラチェット金具”の“緊張用レバー”を左右に作動し、ベルトを増し締めして緊張する。このとき、ベルトは“巻き取り軸”に2回以上巻取る。⚠️危険



- 2 “本体ベルト”を引張り、柱状構造物サイズに応じてベルト長を調整する。

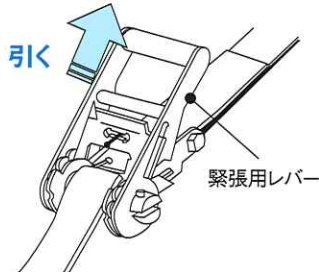


- 4 “ラチェット金具”の“緊張用レバー”をたたく、柱状構造物への設置終了。

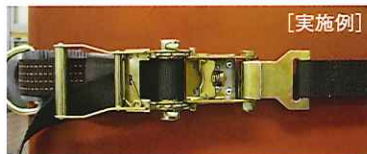
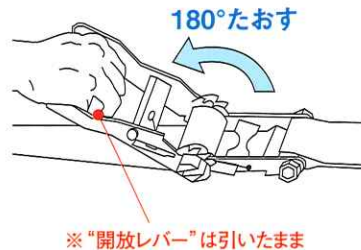


取り外し手順

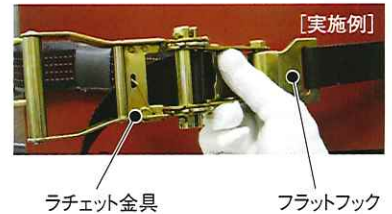
- 1 “開放レバー”を引きながら“緊張用レバー”を外側へ起こす。



- 2 “緊張用レバー”を180°倒してロックを解除し、“ベルト”の緊張を緩める。



- 3 “ベルト”が緩んだら、“ラチェット金具”底面のマグネットを構造物から引き離し、“フラットフック”を外す。



⚠️ 金具をハンマー等で叩いて無理に取り外さないで下さい。

ご使用上の注意

- 溶接火花に注意して下さい。
- コーナーパッドは柱の角に当てて下さい。
- 親網認定基準に従って使用して下さい。
1スパン 1名での作業です。
スパンは10m以下です。
- 親網専用ロープ16mmと緊張器は大嘉産業製を使用して下さい。
- 日常点検
使用前 ラチェットできちんと締め付けが出来ているか確認して下さい。
- 墜落など、一度でも大きな荷重がかかったものは再使用禁止です。
新しいものと交換して下さい。

スライドチャック (S-スライド)

リース品

販売品

墜落落下防止のスタンダード商品。昇降移動用に使用いたします。



特長

1. 着脱手間いらず
開閉板をおさえて解放レバーを引くだけでスライド金具が開きます。親綱に取り付けて開閉板をおさえればセット完了です。
2. 安全設計
スライド金具を上下逆に親綱に取り付けようとしても、チップが働いて開閉板が開かないので、誤った使用を防止できます。



ご使用上の注意

- 親綱繊維ロープ(16mm)を使って下さい。
- 溶接、火花等の附着したロープは使用しないで下さい。

関連商品



親綱